フジウツギ(フジウツギ 科) **兵庫県：Cランク**

Buddleja japonica Hemsl. **環境省：－**

種の概要

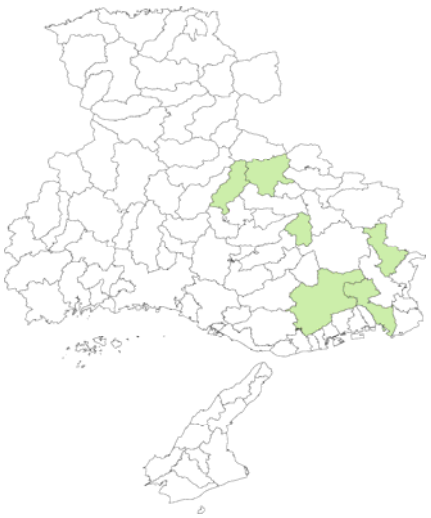
川岸や崩壊地などの荒れ地に生える。高さ1-1.5mの落葉低木。茎には4稜があって角ばり、若枝には星状毛がやや密に生える。葉は対生し、葉柄は長さ2-5mmで軟毛が密に生え、基部に低い半円形の托葉状の付属体がある。葉身は披針形で先がとがり、長さ10-20cmになり、幅2.5-5cm、縁にふつうふぞろいの歯牙があるが、ときに全縁、表面は無毛、裏面はやや白みをおび、細かい星状毛が散生する。7-8月、枝先に穂様の円錐花序をつけ、一方に偏って多数の花つける。花序の軸は淡褐色の星状毛が密に生える。萼は鐘形で長さ約3mm、淡褐色の軟毛が密生し、裂片は狭3角形で先がとがる。花冠は紅紫色、筒形でやや湾曲し、長さ15-17mm、外面は淡褐色の軟毛が密生し、裂片は卵円形で先は円く、長さ1.5-2mm。

国内分布

本州（東北地方～兵庫県までの主に太平洋側）、四国

県内分布

加美町、氷上町、今田町、神戸市、猪名川町、西宮市



選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
				○		○

特記事項

特になし

保護上の留意点

生育地の保全